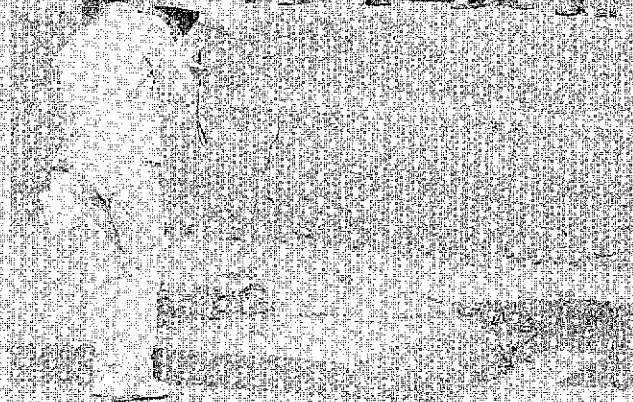
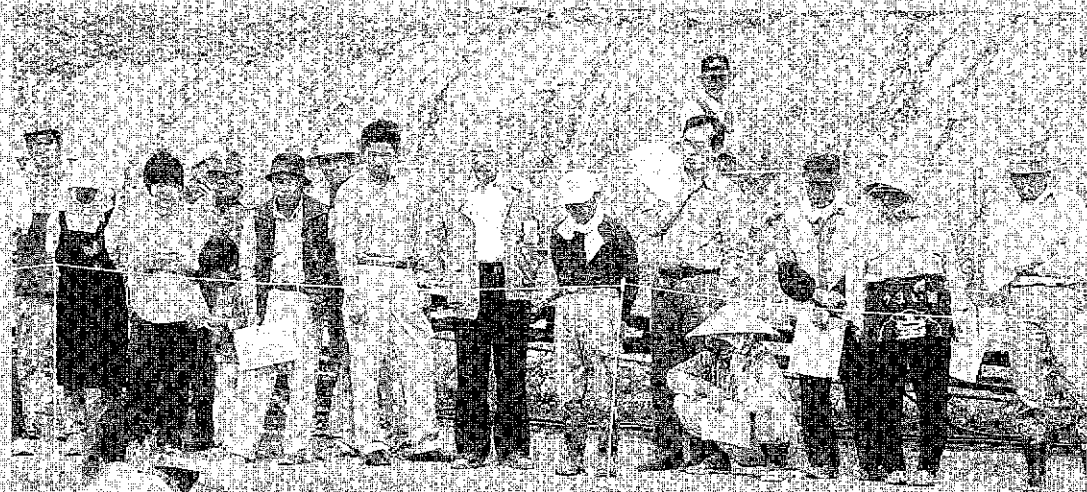


新潟県

# 公民館月報 12

平成12年12月号 通巻第574号



表紙 三角田遺跡現地説明会  
(燕市中央公民館)

特集 人権・同和教育事業の紹介

視 点 子どもたちに夢をあたえる演劇活動

ひろば 「おんぶに抱っこ」の依存から自立へ

実践記録 「ふるさと牧村塾」

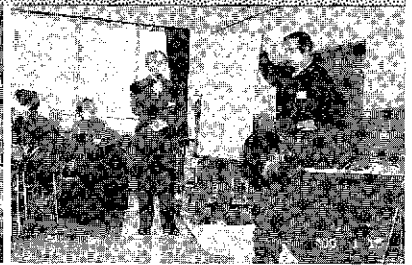
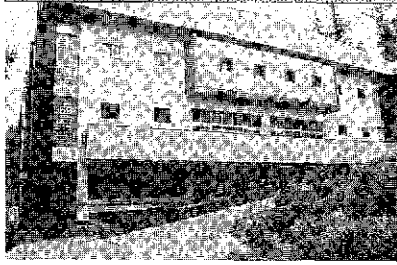
サークル交流 オカリナ同好会「カノン」(新井市公民館)

「染」(安塚町公民館)

素顔拝見 齋藤文美生さん(新発田市公民館)

若山 義さん(出雲崎町中央公民館)

# 初の快挙!! 第53回優良公民館表彰、本県より2公民館受賞す



第53回 優良公民館表彰式

## 加茂市公民館全景

山の雪便りが早くも伝えられる季節となりましたが、この度優良公民館として文部大臣表彰をいただき感激しております。

十月二十三日、東京霞が関ビルにおきまして全国四十二館の皆さんとともに、大島文部大臣より直接表彰状を賜りました。さらに皇居宮殿波の間に、おきまして、天皇・皇后両陛下のご拝謁を受けることも、ねぎらいのお言葉を賜りました。

## 加茂・佐藤館長、坂井輪・青池館長

## 新潟市坂井輪地区公民館事業

「よかったねえ」、10月23日坂井輪地区公民館は、地元の新潟市や諸関係者に支えられ、22年間の時を経て優良公民館として表彰させていただきます。

霞ヶ関ビルの一角、望星の間で、全国42館の仲間と共に大島文部大臣から表彰状を授与され、引続き皇居の長和殿波の間において、天皇、皇后両陛下のご拝謁とお言葉を賜りました。表彰にあたり、お力添えをい

# 文部大臣賞の喜び

新潟市坂井輪地区公民館長 青池真佐子

ただいた県生涯学習推進課をはじめ関係各位に深甚なお礼を申し上げます。

当館は、新潟市の西部に位置し、急速に都市化した人口約9万人の地区で、職員5名が運営に当たっています。地域の市民は、自主性に富み、学習意欲も高く、多才な人が住んでおり公民館活動の財産です。また、新興地ゆえの学習課題もあり、市民が主体的に取り組み、解決法

も研究していけるような活動の支援をしています。中でも、注目されている坂井輪地域学研究会は、大学や他機関と連携し、地域づくりの実践を行い、その成果を地域に還元しています。私共は、この好機を生かし、真摯に公民館のあるべき姿を探っていくと考えています。地域と共に歩む公民館であり続けるために。

リファイト 坂井輪地区公民館

# 文部大臣賞を賜る

加茂市公民館長 佐藤 俊夫

今回の受賞は、県生涯学習課、中越教育事務所、県公民館連合会をはじめ、日頃からご交誼をいただきました関係者各位のご指導の賜と心から厚く御礼申し上げます。

昭和二十六年、旧加茂町に図書館併設で公民館が設置され、来年で設立五十周年を迎える時に受賞できましたことは、職員一同にとりまして二重の喜びであります。

今回の表彰を糧として、すべての市民がいつでも学ぶことができる公民館、子育て支援、青少年育成団体への支援、ホームページによる情報の充実など、今日的課題に積極的に取り組む公民館、本館、分館一体となり地域に根ざした事業を展開する公民館を目指してまいりますので、今後とも関係者各位のご指導とお力添えを重ねてお願い申し上げます。

## ◎県公連事務局からのお知らせ!!

・職員の勤務態様の変更に伴い、事務局の受付、電話等の対応時間が12月1日より下記のように1部変更になりました。

9:00~12:00 <昼休み> 13:00~16:30

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年経 1,800円

申込先 ☎951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 ☎・FAX025-224-6073

# 2000年度新潟県知事表彰 当公民館連合会が受賞



平山県知事より今井会長に授与

◇平成12年11月7日(火)  
◇新潟県庁、講堂で

2000年度新潟県知事表彰式は、この日にふさわしい秋晴れの好天に恵まれ、11月7日新潟県庁西回廊講堂で举行された。

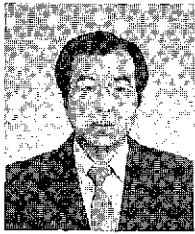
今年度の受賞者は、4部門60人、4団体で、私どもの新潟県公民館連合会は、一般功労部門の団体で表彰された。

当日、当連合会からは今井昭友会長が出席され、10時からの表彰式で、平山征夫県知事より表彰状と記念品が授与された。

この受賞は、当連合会創立50周年を迎えた年にふさわしい栄えあるもので、発足以来の諸先輩の功績が大なるものであることも併せて付記したい。

## 視点

「ふるさと」の仲間をみつつけ、ふるさとの文化をみつつけ、ふるさとの明日をみつつけよう」という合言葉のもとに、平成十年二月「みつつけ演劇セミナー」が公民館の文化事業として発足しました



た。そして秋には、見附アルカディアホールで「再開一九九八年の矢沢宰」を上演し、郷土の夭折の詩人を題材としたこの芝居の成果は「地方の文化」の創造子どもたちに夢をあたえる

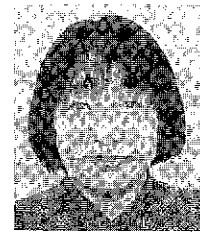
### 演劇活動!

八木清宣

「一石を投じ大きな反響を呼びました。この公演の成功は、市民たちが自らの手で「文化」を創造したことの証でした。引き続き話し合っ

新潟県民文化祭でも

(見附市中央公民館 事業係長)



## 「おんぶに抱っこ」の依存から自立へ 加治川村中央公民館運営審議会委員 小室優子

私にしろ、代は、公民館活動の参加から始まっ

な気がします。子どもの成長に伴い編成された公民館活動。子どもたちは、学校という集団から離れ、自発的に参加し、白らの存在を意識し、励んだことも確かでした。

たと言っても過言ではありません。もう30年前になるでしょうか。国立青年の家での研修や、他数々の参加は、新しい人間関係、活動の場の広がりや私にくれま

## ひるば

顧みれば、私の人生において公民館事業の存在は、とても大きいものであった気がします。枠組みができた事業。主催者側におんぶに、抱っこ」という依存。お任せ主義の参加活動は、卒業の時を迎えたように思っています。

「雪渡り」を再演、見附市から文化を発信できると示しました。いま、子どもたちをめぐる環境は急速に悪化しています。地域ぐるみで子どもたちを守り、育てていかななくてはなりません。

この児童劇の上演も青少年育成活動のひとつとしてとらえるとともに、子どもたちの「地域の文化」を育成する

やがて結婚し、人並みに人の親にと、時は動いていました。初めての子育て、先の見えない不安。そのような中で私の心を支えてくれたのが公民館での社会教育でした。一、二の三ちゃん学級。小一家庭学級に参加することで同じ年代の子どもを持つ仲間が集まり、活発な情報交換の場を与えていただきました。「子ども

成長には、父親、母親の役割は大きい。この言葉を常に心にとどめておこうと、仲間同士、約束したのがついこの間のよう

# 教育事業の紹介

## 第4面 第23回全国公民館研究集会より 福岡市吉岐南公民館



第7分科会での西田館長の発表

### 社会同和教育の推進と公民館

——住みよいまちは、人権が大切にされるまち——

福岡県福岡市吉岐南公民館長 西田惇二

1、福岡市の概要  
・人口131万人。  
・世帯数57万7千世帯。

・地域における生涯学習推進とコミュニティ活動の拠点施設として公民館を小学校区毎に設置している。現在133公民館。  
・各小学校区毎に「〇〇校区人権尊重推進協議会」を設置している。現在127人尊協。

#### 2、吉岐南校区と自治会活動と公民館

吉岐南校区は、福岡市の西部の丘陵地から平野にまたがる辺りに位置し、20数年前から宅地化が進み、現在3400世帯・人口約1万人の校区である。地下鉄3号線に始発駅として工事中で今後も発展が期待できる。公民館は開館して22年になる。

校区は12町に分かれ、各町から自治会長をはじめ、福祉・体育・青少年育成・社会同和教育推進等の委員を選出し、それぞれ委員会を作り活動している。自治会長会と運営委員会を毎月交互に開催している。これが校区内の諸問題や活動の決議・執行機関の役割を果たしている。公民館長がこの自治連合会の事務局長をしているので、校区全

体の諸活動も把握でき、公民館の諸行事も理解・協力が得易い。公民館は地域とのつながりが強く、組織・活動の支援をしてコミュニティ的な役割を果たしている。

#### 3、校区内の人権尊重推進組織と活動

①社会同和教育推進協議会  
・吉岐地区に1979年に結成して活動してきたが、昨年より各小学校区毎に分かれた。  
・吉岐南校区は「社会同和教育推進協議会」の名称にこだわり活動している。  
・協議会の会長・副会長と各部長と副部長は、自治会長と社会同和教育推進委員があたり、事務局長は公民館長。  
・総会・役員会・運営委員会・事務局の組織で活動している。事務局は総務・事業・広報の三部で構成し、実質的な企画・運営を行なっている。  
・総務部は各部の調整・事務局の総括など。

・事業部は、人権のつどい・人権作品展・学習会等企画実施。広報部は、毎月の公民館だよ

りのコラムの原稿作成・機関誌「いきいき南」の発行等。

・毎月部会1回、部の合同会議1回を定期的に開いている。  
・今までの取組みの中で特色があるのは、「人権のつどい」「身元調査お断りステッカー運動」「人権宣言」「質問に答えようQ&A」等。

#### ②町別同和教育研修会

公民館開設時より始めているので22年になる。毎年6月に自治会長・同和教育推進委員の事前同和教育研修会を2回開催し、その後各町2回ずつ同和教育研修会を開いている。内容は、啓発映画・参加体験型学習・音楽・教師・ジャーナリスト・同和地区の人達の講話等多様で、町の集会所や公民館で実施。

#### ③リックの会

1982年吉岐南小PTA同和教育継続学習会が発足し、1992年吉岐南小PTAサークル・リック(HRIRC)の会と名称を改め、引き続き活動を続けてきたので18年になる。今まではPTAを中心に活動をしてきたが、もっと地域に広げたい

ということから、今年4月から吉岐南公民館の人権サークルとして新たな一歩を踏み出した。一人でも多くの人が人権をより身近に、そして豊かな人権尊重の感覚を願って地道な活動を続けている。

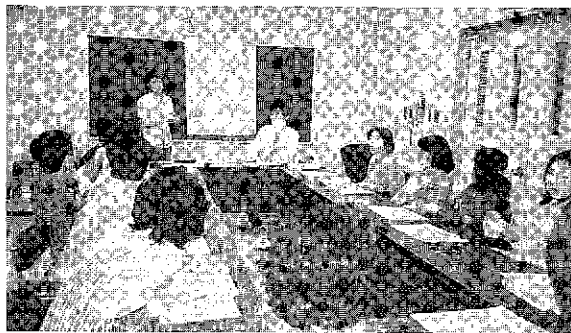
④教育機関の子育てネットワーク  
校区内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の教師・PTAを中心に、地域の人が参加する同和教育研修会である。

#### ⑤同和地区の解放学級

32年前に同和地区で文字を学習する「識字学級」が始まった。これが現在も引き続き「解放学級」として続けられている。数年前より地区外の地域の組織・団体と交流会をもっている。

#### 4、今後の課題

①校区内には、いくつも人権尊重推進組織があり、それぞれに活動している傾向がある。校区社会同和教育推進協議会を中心に交流連携をもっと密にする必要がある。  
②町別同和教育研修会は今後も続けるが、一人でも多くの人が参加し、「参加してよかった」という評価を得るためには、色々な形の取組みや学習内容を工夫する必要がある。



# 特集 人権・同和

## 第5面 新潟県内人権教育の実践

### 川西町公民館

# わが町の日本語教室

川西町教育委員会・公民館係長 沢口則雄

川西町では、特に農家の嫁不足が町全体の問題として取り上げられるようになり、昭和六十一年四月に家庭相談員を設置し、結婚問題を行政として取り上げるようになりました。

対象者へのアンケート調査、座談会などを開催し、結婚問題を自分達の問題としてとらえるよう指導してきた結果、積極的に行動する青年グループができました。

この中で、国際結婚を希望する意見が多くあり、行政として国際結婚に取り組むことになりました。

昭和六十二年に初めてフィリピンから三人の花嫁を迎えました。事始めは、日本料理教室を開きましたが、その後、子どもも生まれ、花嫁さん達もいくらか言葉覚えるまでになりました。

しかし、子どもが大きくなるにつれ、保育園や学校からくる便りを読まなければいけなくなり、漢字の読み書きも必要になってきました。本人や家族からの要望もあ

り、平成三年から日本語教室が始まりました。

現在、川西町の日本語教室は毎週水曜日の午後七時三〇分から午後九時三〇分まで、体育館の集会室を会場に三十五回実施しています。

日本語教室は、二名の先生が教えています。また、子どもを連れてくる人が勉強しやすいように保育室を設け、三名の保育担当者が保育にあたっています。

日本に来て数年がたち、日常会話のできる人もいれば、まだ来たばかりで片言しか話せない人もいて、レベルに差があり、二クラスに分けて教室を開催しています。

初級クラスは、まず単語を覚えると言うことで、物の名前や、数の数え方などを学習しています。

上級クラスは、日常会話のできる人達なので、敬語の使い方など、より高度な言葉を使うことや、文章を作ることを学習しています。

午後七時を過ぎると、外国から嫁いできた人たちが集まっ

きます。

夫に送ってもらう人、日本に来てから運転免許を取得し、自分で車を運転してくる人、子ども連れでくる人、いろいろな人がやってきました。

川西町では、町内に嫁いできた人はかりでなく、町外の人もこの教室に受け入れています。

いまでは、十日町市や小千谷市の人も通ってきています。当町の日本語教室に登録している人は、四十七人に達しています。この内、常に参加する人は十五人位です。

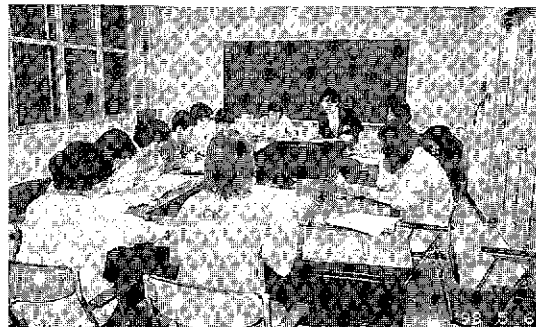
日本語教室では、言葉や漢字、地域文化を覚えるため皆さんが一生涯頑張っています。

また、言葉を覚えるだけでなく、普段まわりに同じ国の人がないため会話ができず寂しい思いをしています。日本語教室に参加することによって、同国の人々とのコミュニケーションが図られ、ストレスの解消にも良い機会となっています。

現在も、日本語教室に入りたいと希望する人は町内外からきています。

行政としては、外国から嫁いできた花嫁さんが地域に溶け込み、子どもを生み、育て、支障なく生活できるよう支援していくことが大切なことと思えます。

公民館として、これからも日本語教室を開催していかねば、と考えています。



# 実践記録シリーズ(48)

## 「ふるさと牧村塾」

牧村公民館

係長 金井英孝

### 一、はじめに

当公民館は、東頸城丘陵の西端、長野県境から村を貫く飯田川に面し牧保育所、牧小学校、牧中学校の近く村民体育館に隣接した所にあります。

村では、村のこれからの課題や将来について、村民皆で考え学ぶ場、意見の交換できる場が必要ではないか考え、場を持つ努力を行った。

### 二、事業展開

① 平成十年度に、六年の歳月をかけて作成された「牧村史」の「効果的な活用、解説をしてほしい」等々…

このような意見、希望が多くあり、要望に応えようと開設したのが「ふるさと牧村塾」です。

初年度は、「牧村史」の中で住民の方々から要望のあったテーマを探り、郷土の歴史、自然風土、生活文化、産業に的を絞り、これらを学ぶために村史編さん事業に携わった編集委員の先生

方を講師にお招きして、それぞれの分野から、わかり易く内容豊かなお話をいただいた。住民からは、昔の人たちの郷土への熱き思い、生活の向上を目指すひたむきな努力、かけがいのない豊かな自然を後世に残した大いなる力を知った。

② 二年目の平成十一年度からは、当初の目的であった「村民皆の場」を作れるように、学習課題は、役場全体で提案するよう、また、行政各課で住民の立場にたった問題や知りたいこと、課の事業PRを含めて、一講座・一課題を担当する方向で協議を重ねて行った。

月一回、住民の集まり易い土曜日の午後、公民館を主な会場に各課が学習主題を持ち寄って、準備は事務局である教育委員会が行い、講師の交渉・手配を始め学習会の実施は担当課がすることとした。

③ 三年目となる平成十二年度

は、引き続き、行政各課で一講座・一課題を担当した。

日程、塾の内容を一部紹介すると、八月五日(土)開塾式を兼ね

第一回目、村内の現状を知る「村内視察」を建設課担当で開催した。村民の方々には住いの周辺と通勤・通学路を知っているが、コースを外れるとよく判らない。最近の工事地・整備された地区をマイクロバス使って現地を見て、係員からその場で、経過のいきさつから現在に至るまでの説明を聞き、疑問やわからないことについては質問を受けて直に答えられるように人員の手配をお願いした。

九月二日(土)第二回目、生活する上で大切な「食料・農業・農村基本計画の概要について」を産業振興課担当で、東頸城農業改良普及センターより講師を招いて開催した。

私達は今、生活する上で利便さを追求するあまり知らず知らずに考えが牛産地から離れたものになっている。輝く太陽・緑の大地・豊かな自然が経済性の追求のもと、疎かになっている。農業・農村が守ってきた土地・人・食料の安全性が問われる時代、この地この村の明口への生き方の一端を塾生は学んだ。

十月二十八日(土)第三回目、体験学習「楽しみながら学んでみ

よう」を生涯学習推進課担当で開催した。内容は、生涯学習の必要性・問題の捉え方・学習の進め方等であった。

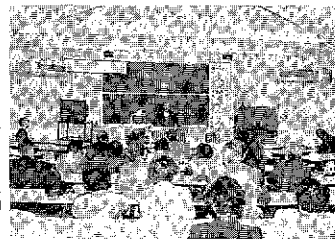
年配者が多い塾生から「公民館だけではなくなつたまには違った場所」との希望で今回は、上越教育大学の講義室を借用して、同大学の教授を講師にお願いして開催した。大学の講義室でお話を聞く機会は少なく、塾生は喜んでいった。

今後とも行政各課が住民の目線でも捕らえた、一講座・一課題を担当して、住民の要望に、行政のPRに「ふるさと牧村塾」が役立つことを期待している。また年間全課程に出席された塾生には「ふるさと博士号」を送り参加の励みにしている。

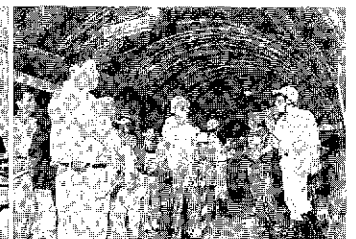
### 平成12年度 ふるさと牧村塾 テーマ やすらぎの里づくりをめざして 学習計画表

回	期日・時間	学習主題・内容・方法等	担当課等
1	8月5日(土) 8:30-13:00 村内視察 (マイクロバス 使用)	開塾式 村内視察 村内工事・整備地の学習会 講師 安塚土木事務所職員	建設課
2	9月2日(土) 13:30-15:30 牧村公民館	食料・農業・農村基本計画の概要について 講師 宮越富東頸城農業改良普及センター所長 宮越強様	産業振興課 農業委員会
3	10月28日(土) 12:30-16:00 上越教育大学 (マイクロバス 使用)	体験学習 楽しみながら学んでみよう 講師 若井彌一上越教育大学 教授様	生涯学習推進課
4	11月13日(土) 13:30-15:30 牧村公民館	子育て支援 地域・家族で協力して子育てを 講師 安田かづ子 県立若菜産短大産科棟 上田美夜子助産師	保険福祉課
5	11月25日(土) 13:30-15:30 牧村公民館	人権啓蒙 身近な人権の話 講師 中澤洋子人権啓蒙委員様	住民課
6	12月16日(土) 13:30-15:30 牧村公民館	男女共同参画社会 これからの村づくりについて 講師 若井彌一上越教育大学 教授様	総務課

\*会場、牧村公民館2階大集会室です。



体験学習  
上越教育大学・講義室



上越魚沼快速道路  
トンネル現場見学・説明

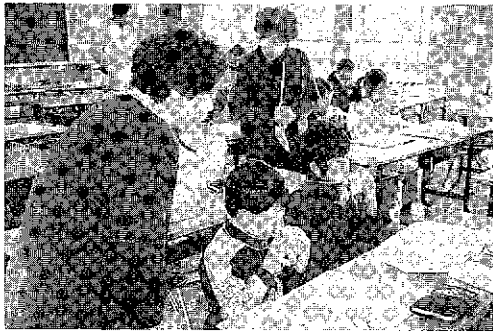
# サークル交流

## 「目指すは宗次郎」

### を合言葉に

#### オカリナ同好会「カノン」

私たち同好会は、平成元年と二年に新井総合文化ホールで開講された「オカリナ講座」の受講者たちで、「ここでやめるのはもったいない。」と講座終了時に発足しました。そして、十年、メンバーも入れ替わりました。今は、優しくて柔らかな音色に魅かれた人も加わり、月二回の定例会を中心に活動しています。今年には同好会結成十周年。文化ホールとの共済で「ミレニア



ムコンサート」を開催。講座の先生からゲスト出演、また、「えほんのへや」の方々から影絵と語りをしていただき、お陰で充実したコンサートになりました。会員一同「目指すは宗次郎」を合言葉に今後も活動を続けていくことを確認しました。

この他に、アトラクションへの依頼出演や新井小学校のクラブ活動の指導に参加。クラブ活動は一回一時間で計六回。子供たちの上達が早く、毎回一曲を仕上げるペースで行いました。指導を通してオカリナの魅力を伝えることができ満足でした。

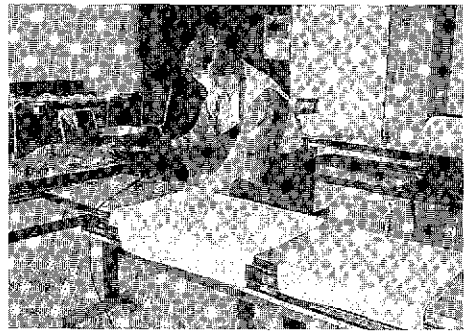
(オカリナ同好会「カノン」  
江口 壽子 記)

#### 草や木で

#### そめてみま『染』か

#### 安塚町「染」

「草木染めっていいねえ。どんなにして染めるのかやってみたいね。教わる機会があったら、ぜひ紹介して。」と公民館におねがいしていたら、折よく飛騨高山での学習会に一行五人初めて泊を伴う染め研修に参加。その後講座が開設され以来、五年間。年令、住所、職業が全くばらば



らな十二名がすっかり「染」病に感染。「染めてみよう」という一点を軸に、公民館に来ては、おもしろい染めをしています。

作品発表は、まちの物産館で販売すること、町の文化展に作品展示するだけで、あとは専ら自分の趣味で染めて仲間と作品を公開し、満足しています。対外的には、町内外子供達への体験学習や、出舎体験のインストラクターとして草の見付け方、染め方の指導を行っています。

同じ草木でも春夏秋冬では発色が異なり、予想に反してさまざまな色あいが楽しめることが感動となり、次の作品づくりへと夢が広がり、楽しく活動しています。

(「染」代表 小林 美智 記)

## 新発田市公民館

### 主事 齋藤 文美生 さん

去年の4月、都市開発課から公民館へ颯爽と彼はやってきた。彼は一見すると二枚目キャラのようにだが、実はとても面白く愉快で、それでいて合理的で、時には毒舌まで使いこなすいぶし銀キャラなのだ。



習意欲に応え、女性セミナーでは、そのユーモアと人徳で

どんなに固い内容でもなごやかな雰囲気を受講生を幸せにしてしまう。そして、事務的な仕事ではお察しのおり、もうその仕事やっつるんすかっ」言われ記録を更新中だ。

特に、計算と理論に裏づけされた笑いのセンスは天下一品。オーラが漂うほど。

そんな彼の趣味はバス釣り。一人で出かけていって、  
「フィッシュー」の声をこたまさせているらしい。この調子なら50cmオーバーを拝む日も近い。(新発田市公民館 海津 智彰 記)

## 素顔 拝見

出雲崎町中央公民館  
社会教育係主事補 若山 一義 さん

中央公民館社会教育係に異動して二年日、ようやく社会教育とりわけ公民館事業運営にようやく慣れてきたようです。

役員保健福祉課衛生係からの異動で、最初は窓口対応にとまどっていたが今ではテキパキと対応している。

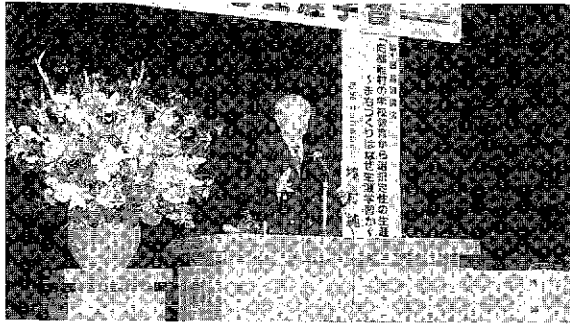


クリアールして、今では町民の方から「若ちゃん」と親しまれ、人気者となっています。高校時代からの長くて熱い交際の末に、昨年十月に結婚し、今は楽しい新婚生活の進行中でありま。

古参の社教主事に愛のシゴキを受けて、グングン成長中で、出雲崎町に「若山」あり、と活躍する口を楽しみにしています。

(出雲崎町中央公民館 磯部 友記雄 記)

# 柏崎市公民館設置50周年 記念大会、盛会裡に終了



柏崎公民館設置50周年記念大会は、第3回柏崎市生涯学習推進大会と併せて、11月26日(日)、柏崎市産業文化会館で多数の関係者の参加を得て開催された。当県公連からは今井昭友会長が参席され、祝辞を述べられた。

大会テーマを「まちづくりと生涯学習」と設定し、第1部は基調講演、「向部離村の学校教育から選択定住の生涯学習へ」〜まちづくりはなぜ生涯学習か〜の標題で、静岡県掛川市榛村純一市

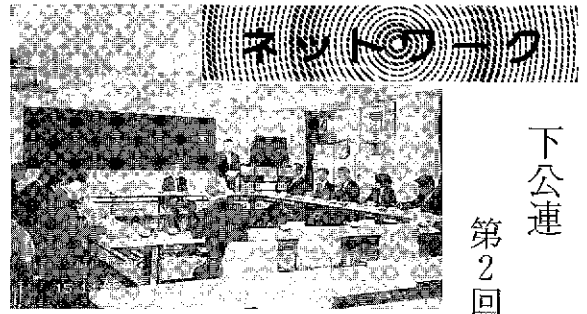
長から提起され、次いで第2部はパネルディスカッション「まちづくりとキング」〜自治体首長が語るまちづくりと生涯学習〜ということで新潟日報長岡支社篠田昭報道部長をコーディネーターに、パネリストは基調講演の榛村掛川市長に加えて、県内からは矢野学安塚町長、地元からは西川正純柏崎市長が登場され、それぞれの立場でのまちづくりについて見解を主張された。

その後会場を3階に移して、50周年記念祝賀会が開催され、柏崎市公民館関係者との交流・交歓がなされた。

## 下公連

### 第2回評議員会開催される

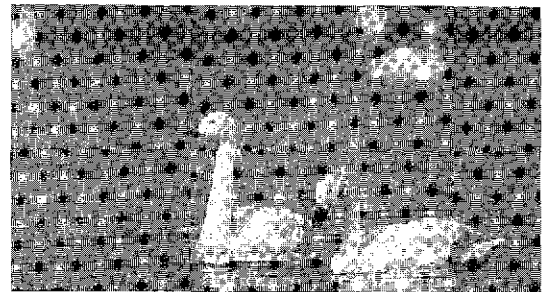
平12・11・15(水)



小林下越社教課長のあいさつ

第2回評議員会は、新潟市公で、予定どおり開催。議事としては、(1)県公連創立50周年記念大会の報告、(2)下公連役職員研修会の報告、(3)来年度同役職員研修会の概要計西案が提示され、また(4)平成14年度本県で開催が予定されている第43回関プロ大会会場候補地についても、新潟市並びに北蒲中部地域ということで検討され、おおよその方向づけがなされた。

## 平成12年度冬の特別展 写真展、ウォッチング、鳥屋野湯の野鳥たち 〜水辺の四季を生きる鳥たち〜



◆開催期間  
平成12年12月16日(土)〜平成13年1月14日(日)  
・期間中 12/18 12/25 1/9 及び年末年始12/28〜1/4は休館

◆会場  
〒950-0948  
新潟市女池南3-1-1  
新潟県立自然科学館  
TEL 025-283-3331 FAX 025-283-3336

◆主催  
財団法人 新潟県文化振興財団  
新潟県立自然科学館

◆展示品  
・生態写真 100点  
・野鳥観察ジオラマ(はく製) 1点  
・野鳥観察用具・フィールド野鳥図鑑 10点  
・実体顕微鏡 2点  
・コンピュータ野鳥図鑑 2点  
合計115点

◆写真展講演会・野鳥観察会 定員100人(当日受付・先着順)

1回目	12月23日(土)	13:00~13:45	講演会	講師	小池重人氏
		13:45~14:30	野鳥観察会	講師	小池重人氏
2回目	1月14日(日)	13:00~13:45	講演会	講師	岡田成弘氏
		13:45~14:30	野鳥観察会	講師	岡田成弘氏

○バードウォッチングの方法  
観察に適した服装や観察用具、図鑑などを紹介します。

## あとがき

◆今年度全国優良公民館表彰受賞の栄に浴された新潟市坂井輪地区公民館並びに加茂市公民館の関係者の皆様、誠におめでとうございます。

## 表紙解説

### 三角田遺跡現地説明会

燕市では、農水省の事業に伴い三角田遺跡の発掘調査を行った。市内ではめったにない本格的な調査とあって、10月8日に開催した現地説明会には10人ほどの方が訪れ、熱心に説明に聞き入っていた。

(燕市中央公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共・年額1,800円】

また今回、県公連も関係各位のご尽力により県知事表彰を受賞することができました。ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。それでは、良いお年を。(鈴木記)